

No.489

## 2019年の天文イベントは日食から

年が明けて間もない1月6日の午前中、日食が見られます(図1)。太陽の直径の半分近く(42%)まで欠けますから見ごたえがありますよ。今回の日食の特徴は、冬のため太陽の高さが低くてたいへん見やすいことです。日曜日ですから、家でじっくりと観察してくださいね。

観察をするときには、右の注意点をしっかりと守ってください。また、日食観察メガネや太陽観察用のしゃ光プレートなどを持っている人は、破れたり割れたりしていないか、そしてメガネなどを通して部屋の明かりを見たときに明かりが見えないほどしっかりと光が減らされていることを確認してから使ってください。

日食観察メガネなどを持っていない人には、ダンボールを使った観察方法(ピンホール観察器)がおすすめです(図2)。さて、このピンホール観察器では、穴(ピンホール)の大きさがポイントです。小さすぎると暗くて見えず、大きすぎると太陽の形が分かりません。どのくらいの大きさがいいか、いくつか穴を開けて調べてみましょう。

富山市科学博物館では、1月6日の午前9時~11時30分に観察会を行いますので、ぜひお越しください(天文台では行いません)。(天文担当 林忠史)



図1 2019年1月6日の日食の見えかた

### ★日食を観察するときの注意!

- ・太陽を直接見ない。
- ・太陽観察用ではないものを通して太陽を見ない。
- ・望遠鏡で太陽を直接見ない。

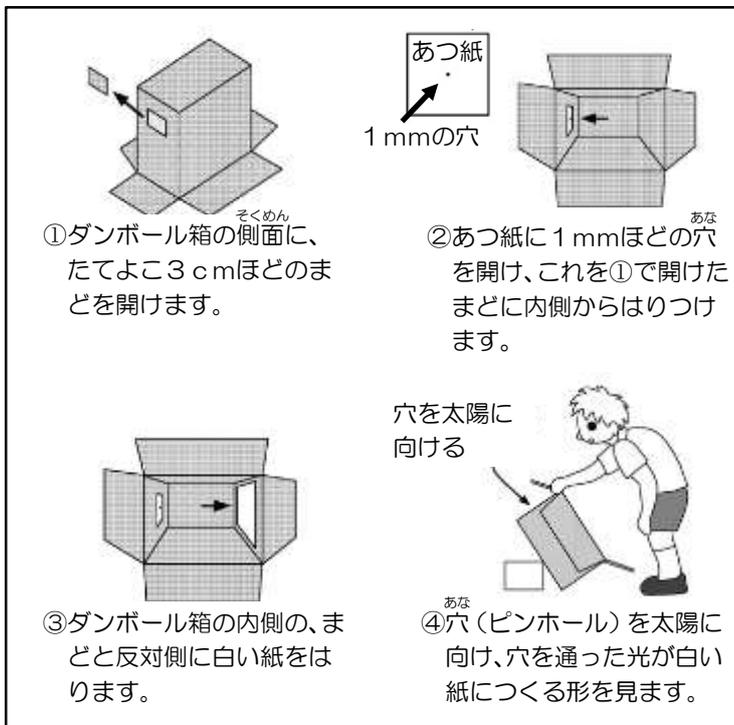


図2 ピンホール観察器の作りかたと使いかた

今月のかがくのギモン：星はどうして夜にしか見えないの？

(答えは当館ホームページをごらんください。)